

各位

2023年12月8日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本  
TEL：03-5325-8547

### 旅行取扱状況の概観（令和5年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比70.5%、学生団体は同112.1%、団体旅行合計では同96.7%となった。企画旅行については2018年度比68.0%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比75.8%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比54.7%、学生団体は同38.2%、団体旅行合計では同47.0%となった。企画旅行については2018年度比25.9%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比34.2%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比74.9%と2018年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の10月の総取扱額は、前年比104.2%と前年を上回る結果となったものの、2018年度比62.1%と2018年度を下回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 国内旅行

国内団体については、スポーツイベントや企業系コンベンション、報奨旅行の大型案件が貢献したものの、職場旅行・観光については取扱額が減少し、2018年度比70.5%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱件数が増加し、2018年度比115.5%となった。修学旅行以外の学生団体においては、オリエンテーションや各種大会等の取扱いが増加したが、2018年度までの回復には至らず、2018年度比89.0%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比96.7%となった。

国内企画旅行については、2018年度比68.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、宿泊商品を中心にウェブ販売が好調に推移しているものの、2018年度までの回復には至らず2018年度比52.8%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、首都圏の航空機・JR利用の旅行が比較的堅調に推移したものの、2018年度比74.7%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比75.8%となった。

##### 2. 海外旅行

海外団体では、企業の研修・視察旅行や報奨旅行など大型案件の取扱いがあったものの、2018年度比54.7%となった。学生団体は、修学旅行では取扱件数が減少し、修学旅行以外の学生団体においては、大型案件の取扱いがなく、2018年度比38.2%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比47.0%となった。

海外企画旅行については、2018年度比25.9%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、商品ラインナップや価格設定が市場のニーズに合わず、前月に引き続き販売が低迷。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、アジア方面が好調であったものの、2018年度には及ばなかった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比34.2%となった。

##### 3. 訪日旅行

訪日旅行については、昨年10月の水際対策大幅緩和直後から、1年後以降を見据えた招待旅行や視察旅行、グローバル企業

セミナー等の営業の成果が顕著に出始めているが、当月から約1.7倍の値上げとなった JAPAN RAIL PASS の取扱額の減少等により訪日旅行の総取扱額としては、2018年度比74.9%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから2018年度との比較にて表記。